

生徒会・児童会代表者ミーティング (8/26)

心の絆プロジェクトの活動状況

小学生部会

ビデオ教材「私たちの選択肢」 いじめが起きた時にどのように対応すればよいか

<小学生の意見>

- ・傍観者にならずに、何か新しいことをしないといじめはなくなる。
- ・いじめは良くないと思ながらも、雰囲気はいじめをやっているのかなと感じた。
- ・SNSに書き込むよりも、先生や相手に直接言う方が、気持ちが正しく伝わる。
- ・誰かと協力して「だめだ」と言うことが、いじめをやめさせる力になる。
- ・いじめを止めようとした結果、自分がいじめられていることがあったとしても、誰かがいじめられているところを見る方がつらい。
- ・自分を守るための行動ではなく、相手の気持ちを考える行動をすることで、良いことにつながる。
- ・いじめは早めに止めることが大切。いじめられている子が不登校になってから行動しても遅い。

中学生部会

グループ協議 「いじめをなくすためにできることは」

<1班> 題「みんなが仲良くなるために」

- ・ありがとうカードの活動により、友だちの良いところを見つけ合う。
 - ・学期に1回、先生と話し合う機会をつくり、相談しやすくする。
 - ・全員が意見を述べるような場を、クラスや学校でつくる。
 - ・悩みボックスを設置し、相談できるようにする。
 - ・みんなで遊ぶイベントを開き、交流を深める。
- 「みんなが仲良くなるために、明るい学校にしていくことで、いじめはなくなっていく」

<3班> 題「いじめに勝つ！！」

- ・みんなが触れ合うことで笑顔が生まれるような環境をつくるのが大切だ。
 - ・あいさつは学年を越えて触れ合うことができ、誰もが取り組めることだ。
 - ・心をリフレッシュできる趣味を見つけること、勇気をもつことで、いじめに負けない強い心が育つ。
 - ・先生と相談できる機会を設け、信頼できる先生をつくっていく。
- 『環境』『友人との関係』『いじめに負けない、いじめを止めようとする自分』があれば、いじめに勝つことができる」

<2班> 題「みんな違ってみんな良い」

- ・一人一人の存在が大切にされるクラスになるよう工夫する。
 - ・全学年で交流するイベントを開催し、学校を明るくする。
 - ・アンケートを実施し、いじめを相談できるようにする。
 - ・誉め言葉のシャワー等、相手の良いところを探すことで、相手や自分を見つめ直す機会をつくる。
- 「お互いを理解し、相手の個性を尊重し合うことで、いじめはなくなっていく」

<4班> 題「いじめ廃絶都市・加古川」

- ・いじめをなくす方法について各クラスで考え、全員で協力して取り組む。
 - ・休み時間や昼食時にクラスで交流できることを考えて実行する。
 - ・相談できる場所や人を設ける。
 - ・アンケートを月一回行い、学校は楽しいか、いじめは起こっていないか聞いていく。
- 「互いが交流したり相談したりする環境を整えていくことで、いじめはなくなっていく」

<児童生徒の感想>

- ・中学生の発表が具体的で、分かりやすく、参考にしようと思った。また、みんなで出し合った意見を、自分の学校でできるだけ実現できるようにしたいと思った。
- ・生徒会は、学校をよりよくするための話し合いをよくするが、いじめに絞った話し合いはあまりなかった。また、クラスで話し合っても、あまり意見をぶつけ合う事はできなかった。今回の、色々な中学校の人たちと一緒にいじめについて考え、話をぶつけ合うことができたことは、とても充実した時間だったと思う。

<教師の感想>

- ・いろんな意見をたくさん聞かせてもらった。これが、どれか一つでも、各校で実現できたらいいと思う。二学期、実行していきたいと思った。
- ・たくさんの意見が出て、すごいと思った。私たち教師が思っている以上の意見が出たので、色々な考え方をしていかないといけないと思った。

「いじめを許さない学校づくり」に向けた活動

「生徒会・児童会代表者ミーティング」ならびに「いじめ防止市民フォーラム」の内容等を児童生徒に周知する取組

- 集会（全校朝会・全校集会・いじめ防止啓発集会・文化発表会・文化祭・いのちの集会）
- 児童会・生徒会新聞、チラシ、活動報告パネル
- ・作文にして報告
- ・いじめ防止のための劇（動画による報告も含む）
- ・活動の様子を写真等で紹介
- ・デジタル紙芝居、動画
- ・アイスブレイク（積み木自己紹介、全力ハイタッチ等）
- ・掲示板等に掲示
- ・全校生へ配付
- ・道徳等の授業との連携（話し合った内容を掲示）
- 学校だより
- 委員会・生徒会活動
- 代表委員会
- その他
- ・児童が作成し、保護者へ周知
- ・報告や取組内容の検討（小学校部会で使用したDVDの活用）
- ・代表委員会出席者による各クラスでの報告
- ・クラスで報告
- ・始業式後の時間を使って報告
- ・お昼の放送

主な取組

<p>加古川ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いじめゼロ宣言 ○いじめ防止啓発の呼びかけ ○花いっぱい運動 ○スマホの使い方アンケート ○インターネットルールの見直し など 	<p>中部ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あったかハート ○インターネットトラブル防止講座 ○いじめ追放宣言の小中共有 ○真心あいさつ運動 ○いじめ防止啓発標語の活用 など 	<p>浜の宮ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童会室の開放（オセロ将棋大会） ○スーパーあいさつ運動 ○笑顔の花咲く木 ○いいところ見つけ ○異学年交流（大縄跳び大会） など 	<p>両荘ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ○やさしい声かけフルーツバスケット ○よびすてゼロ運動 ○両荘中学校プレスタイム ○募金活動 ○学校独自の心の絆宣言 など 	<p>平岡ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ○はなまるプロジェクト ○ONとOFFデー ○ぼかぼかハート運動 ○集会と運動しいじめ防止の授業 ○おしゃべりスゴロク など 	<p>氷丘ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ほっこり・がっかりエピソード ○ハイタッチ・バイバイ ○いじめ防止川柳 ○きらきらさんカード ○ほめほめタイム など
<p>神吉ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いじめについて考える集会 ○何でもボックス ○ぬくもりの木 ○ありがとうカード ○思いやり宣言 など 	<p>山手ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ○なかよし集会 ○「げんきちゃんカード」の配付、表彰 ○児童会・生徒会新聞の発行 ○心の絆パネルの合作 ○なかまづくりプロジェクト など 	<p>志方ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ○虹色ポスト、スマイルポスト ○校内いじめ防止標語 ○人権ジャーの劇、生徒会劇 ○えがおであいさつニコニコデー ○友達の良いところみつけ など 	<p>平岡南ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽会での全校合唱 ○平岡っ子まつり ○いじめについて考える集会 ○いじめ防止ポスターの作成 ○幸せ助け隊 など 	<p>別府ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ運動（小中連携、地域との連携） ○レクリエーション大会 ○ペアフレンド交流 ○交流給食 ○目安箱 など 	<p>陵南ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ○輝きBOX ○スマイルエピソード ○学級生徒会での話し合い ○いじめ追放宣言 ○いじめ防止集会 など

<取組を続けた後の児童生徒の様子>

- ・生徒会で新たな取組ができないか考えるようになった。結果、文化発表会の劇テーマに「いじめ防止」を入れた。
- ・生徒会、児童会の呼びかけを受け、他の委員会も自分たちにできることはないか考えるようになった。
- ・友達の行為を見て、それはいじめではないかと考え、教師に報告したり、止めようと声掛けしたりする児童生徒が増えた。
- ・他学年に対しても、声をかけようとする児童生徒が増えた。

<教師の感想>

- ・ミーティングやフォーラム後、参加した児童生徒のやる気が明らかに変わる様子を感じる。参加していない児童生徒との熱量の差を感じるため、その差をどう埋めていくかが教師の支援すべきポイントではないか。
- ・生徒会（児童会）担当の教師も、新しく担当する者が多くなっている。情報共有をしていく場があることはありがたい。
- ・ユニット内の学校で連携した取組が増えた。より効果的な活動になっていく1つの形ではないかと思う。